

【政務活動報告書（県内）】

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
30. 7. 21	米子市	どらドラパーク 米子水泳場	日本水泳連盟 役員	水泳の競技力向上について意見交換、今後の取組について協議	A-12 A-13
30. 7. 23	八頭町 若桜町 智頭町	八頭町、若桜町、智頭町地内の7月豪雨被害現場	吉田八頭町長、 寺谷智頭町長、 他、各町担当職員	平成30年7月豪雨災害による被害の現場調査	A-51

政務活動報告書

「長門市世界大会等キャンプ招致基本計画」を策定し、
俵山地区の温泉やスポーツ施設等、地域資源を
活用したツアーリズムに取り組んでいる。

俵山の目的広場を再整備し、防波堤「奥」の
棧橋を整備してクラブハウスを新設した。

これらの取組みにより、ラグビーワールドカップ2019及び
2020東京リ・パラキャンプ地招致活動により、
ラグビーワールドカップはカタケムがキャンプ地に決定。
東京リ・パラではトンが五国杯スタジアムに登録された。

〇山口県土木建築部都市計画課 街路公園班

主幹 原田 光 氏

主査 田中 英樹 氏

〇観光スポーツ文化部 スポーツ推進課

課長 田上 敦則 氏

主査 二橋 康治 氏

平成23年開催の山口国体について、調査した。

平成13年11月に第66回国民体育大会開催方針を策定し、
競技施設整備基本方針と会場地帯町村選定基本
方針を基に平成18年3月、国体開催基本構想を策定。
「全ての市町村に国体開催の取組を実施」すること決定
愛称「おいでませ！山口国体」、スローガン「君の一生けん
めいに会いたい」を決定。

市町村が競技施設整備事業を行い、そのうちについては、
一般競技施設は、1/2、特殊競技施設は10/10
それぞれ補助率で施設整備を促進した。また、
69施設のうち、新設7、改修は29施設であった。

選手強化対策については、「トップアスリート育成プラン」に
基づいた計画の作成と対策を推進した。前年16位
から、1位となる。

関連領収書番号

政務活動報告書

・山口県スポーツ推進条例は、山口県に84高卒の競技力や人材、スポーツ環境の成果を一過性に終わらせることなく、次の世代に継承し、貴重な財産として活用するため、総合的、長期的にスポーツに因らる施策の推進を図るために制定された。条例制定によりスポーツ推進期間を設ける等、県民の間に広くスポーツに対する関心と理解が深まる成果があった。本県の二進目口伴の準備に資する調査とあった。

関連領収書番号

政務活動報告書

活動事項	島根原子力発電所の安全対策調査
活動年月日	平成30年6月12日(火)
場 所	松江市
活動の相手方	中国電力株式会社 島根原子力本部
目的・内容・結果等	<p><目的> 原子力規制委員会が策定した新規規制基準に対する安全対策の状況について現地調査。</p> <p><内容> 出席者・中国電力株式会社 島根原子力本部長 岩崎昭正氏 " 副本部長 長谷川千晃氏 島取支社長 天野浩一氏 " 副支社長 村上浩美氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根原子力発電所の概要を聴取した。 ・防波壁(海拔15m)の整備、外部電源の二重化、ブレイクイベントの整備、注水施設の整備、放水石包の整備等。 ・島根原子力発電所の安全対策、特に3号機について聴取した。 ・改良沸騰釜水型(ABWR)の特徴(原子炉内蔵再循環ポンプ、改良型制御棒駆動機構、鉄筋コンクリート製原子炉格納器、改良型中央制御盤)により安全性が向上。 ・3号機の現地視察 中央制御室、タービン、原子炉、ドライウェル、圧力抑制室等について聴取。 ・大型表示盤、色、配置等と工夫、ヒューマンエラー防止。原子炉建物内に水素が漏洩した場合に備えて水素検知器を整備し、自媒体により
関連領収書番号	A-9. A-10. A-51

政務活動報告書

	<p>自動的に水蒸気に変換する装置を設置。蒸気放出が必要になった場合、スルパ付きベント設備を通じて蒸気を放出し、環境負荷を低減。シャットダウン時は原子炉格納容器との接触を防止する耐熱材(コリウムシールド)を整備。その他、防波壁、地上式淡水タンク、高圧送電気車、入口扉、放水砲(水)を調査した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 3号機(137万Kw)で山陰両岸の電力需要は十分まかなえる。・ 3号機の当初投資46百億円、新規制基準対応で、2号機・3号機含め50百億円。
関連領収書番号	

政務活動報告書

活動事項	山陰海岸リゾートパーク推進三府県議会議員の会 平成30年度総会及び講演外
活動年月日	平成30年7月19日(木)
場 所	兵庫県新温泉町
活動の相手方	公立鳥取環境大学環境学部准教授 柏洞一央氏 但馬海岸遊覧船
目的・内容・ 結果等	<p><目的> 平成30年度山陰海岸リゾートパーク推進三府県議会議員の会総会の開催、講演、現地調査。</p> <p><内容> 平成30年度は兵庫県新温泉町山陰海岸リゾートパーク館で開催。地元新温泉町の西村銀平町長と車輿と江招きし、ご挨拶をいれた。</p> <p>・参加者 京都府議会議員、兵庫県議会議員、鳥取県議会議員、山陰海岸リゾートパーク推進協議会役員、三府県行政官縁者。</p> <p>・議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度事業報告について ○平成30年度事業計画について ○要望活動について <ul style="list-style-type: none"> ①三府県に友好要望 ②推進報への要望 ③口の枝肉、国会議員への要望 <p>・講演 講師 公立鳥取環境大学環境学部准教授 柏洞一央氏 柏洞氏は空戸リゾートパーク推進協議会の地理専門員と江、空戸リゾートパークの世界リゾート認定に貢献された。その経験と基に貴重な講演と行った。</p>
関連領収書番号	・現地調査、経営者から新設した遊覧船の運航実態を調査した。 A-51

政務活動報告書

<p>活動事項</p>	<p>バナメイエビ(クルマエビ科)の養殖場を現地調査し 鳥取県内での養殖の可能性を検討。</p>
<p>活動年月日</p>	<p>平成30年8月27日(月)</p>
<p>場 所</p>	<p>岐阜県瑞浪市</p>
<p>活動の相手方</p>	<p>バナメイエビ養殖場 ハイランドファーム東濃</p>
<p>目的・内容・ 結果等</p>	<p><目的> バナメイエビの陸上養殖場を現地調査し 鳥取県内での養殖の可能性について検討す。</p> <p><内容> 面談者 (株)ハイランドファーム東濃 代表取締役 齋場 直樹氏 福祉園リーベの会 杉山氏(琴浦町出身)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルマエビの近縁種として日本の取扱量は増加。 ・飼育期間は約3ヶ月。水は河川水に栄養塩等を 足したもの。(塩分1%)。餌は配合飼料とアライ シリンゴを使用。 ・生産者の技術は重要であるにもかかわらず、行政の補助 はソフトが対象にならない。 ・大手と契約するには安定供給が不可欠。生産企業と 増やす必要がある。(生産組合の設立と視野) ・飼育については水を加温するため木質バイオマスボイ ラーと活用する計画。 <p><結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業モデルの概要が不明確な段階であった。 ・最初に研修施設を造ることと検討するべき。 ・就労環境が猛暑で有害であった。高齢者には厳しい 環境で、高齢化が進む地方での人材確保に不安が ある。
<p>関連領収書番号</p>	<p>A-14①②、A-15、A-16</p>

政務活動報告書

活動事項	山陰海岸ゾオパーク推進 三府県議会議員の国会議員・国緑省庁への要望活動
活動年月日	平成30年11月8日(木)
場 所	東京都内
活動の相手方	三府県選出の国会議員 環境省 観光庁 文部科学省 内閣府
目的・内容・結果等	<p><目的> 平成30年8月に実施された山陰海岸世界ゾオパークの審査で再認定を獲得するため、国緑省庁へ要望した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国会議員 衆議院議員(ゾオパーク国会議員連会長) 石破茂氏 赤澤亮正氏 谷公一氏 本田太郎氏 参議院議員(内閣府大臣政務官) 轟立昇治氏 ・8月に現地調査が実施されたが、未だ審査結果が公表されていない状況と報告し、再認定を得られよう支援を要望した。 ・遊覧船の魅力を増大するため、JR、空港、バス会社等と連携した事業の創出に努めること。 ・自転車によるライドコースの整備、キャッシュレス設備の整備について検討すること。推進協議会の体制主に事務局の充実に努めること。支援人材の活用と確保すること等について意見交換し、要望書を平交した。 ○環境省 自然環境局 正田寛 局長 ・環境と観光とを捉え直す必要がある。予算等積極的に支援したい。満喫プロジェクトの良い事例を参考にする。
関連領収書番号	A-17、A-18、A-19

政務活動報告書

- 観光庁 観光地域振興部 平岡成哲 部長
事業の広域的な取組みや海外に向けての広報に支援できる。自転車のライドについては、国土交通省に自転車担当参事官が配置されていること。自転車活用推進議員連盟の情報提供があった。山陰海岸はアメリカワシントン州のリンピック国立公園の海岸沿いの風景に似ており、高い評価があった。
- 文部科学省 大臣官房 池原充洋 戦略官
海外のシオパークとの連携は、アジア太平洋シオパークのネットワークが望ましい。日本シオパークネットワークと文部科学省の連携が必要。
- 内閣府 大臣政務官 参議院議員 舞立昇治 氏
まちづくりと創生本部 中山隆治 参事官
地方創生交付金か他の事業に回し、シオパーク関連事業に回している。シオパーク協議会は小規模の市町村単位で人材的・資金的に厳しい状況がある。日本シオパークネットワーク自体が人材・資金面等調整機能を果たすことを検討している。
シオパークと活用した商売化の取組には支援が可能なので相談している。

(結果) 平成31年2月26日、山陰海岸シオパークが世界シオパークとして再認定される。

政務活動報告書

活動事項	台北駐大阪経済文化弁事処の李処長等と面談し、今後の台湾・台中市との交流について、意見交換。
活動年月日	平成30年11月21日(水)
場 所	大阪市
活動の相手方	台北駐大阪経済文化弁事処
目的・内容・結果等	<p><目的> 鳥取県は平成30年11月2日に台湾台中市と、友好交流協定を締結し、今後の交流の充実を図る中、そのあり方と方向性について意見交換した。</p> <p><内容> 面談者 台北駐大阪経済文化弁事処 ・李世丙処長(11月15日着任) ・李碧娟課長・陳浩明係長 ・丸尾真大氏</p> <p>鳥取県と台中市との交流は梨、榎木の輸出から始り、現在は、物産経済交流、青少年交流、スポーツ交流など幅広い交流に発展してきた。梨の榎木については、鳥取県の榎木が良質で人気が高く、輸出品が不足傾向にあるが、後継者不足で栽培面積の減少が要因のひとつとなっている。</p> <p>11月3日から開催の台中国際花博覧会に鳥取県も出展した折に、大阪弁事処に様々な場面でご尽力頂いた。台湾では鳥取県の出展がニュースで報道され、台中市民に鳥取県が印象付けられた。鳥取県と言方向する人が増える見込み。</p> <p>李世丙処長は11月15日に着任されたばかりだが、先処長の陳訓養氏、洪英傑氏に協力して頂いたことにお礼を申し上げ、今後の交流の拡大を合意した。</p> <p>平成31年2月に開催予定の日台親善協会総会に招待した。</p>
関連領収書番号	A-20